



ピーターセントレジャー

Peter St. Ledger

オーストラリア出身

経歴

6歳からピアノを学び、クラリネットやサクソといった楽器にも慣れ親しんできた。

20年以上の彼のキャリアの最初の8年間は、ジャズ、ファンク、ポップスといったジャンルの音楽の追求と、オリジナル曲のバンド演奏に費やされた。この間、テレビ番組「レイ・マーティン・ショー」のレギュラーバンドとして活躍し、バンド演奏で各地を廻る。ニュー・サウスウェールズ音楽大学のジャズピアノ科を卒業後、ラテンやサルサ、ソウルといったジャンルにも音楽領域を広げ、クラブや客船での演奏、ドリフターズやコースターズといった有名バンドのバックとしても活躍する。

その後、リッツカールトン、インターコンチネンタル、ニッコーホテルなどの一流ホテルに所属して演奏活動を続け、CTC クルーズ客船に演奏者として乗り世界を廻る。

岡本真夜のコンサートツアーやシェリル・クロウとの共演など活躍の場を広げる。

ライブハウスやコンサートホールでの演奏を中心に最高の演奏を披露している。

主な音楽活動

岡本真夜コンサートツアー「CRYSTAL SCENERY」ツアーメンバーとして全国を廻る。

PATRICIA MARX (ブラジル人ポップシンガー) 来日ツアーメンバーとして共演。

「筑紫哲也のNEWS23」ジャズシンガーホリー・コールと共にアコースティックピアノを生演奏。

「ミュージックフェア」シェリル・クロウのバックメンバーとして共演。

小野リサのアルバム「BOAS FESTAS」の収録曲「LET IT SNOW、LET IT SNOW、LET IT SNOW」の演奏・アレンジ。ブラジリアンナイトクラブ「サシペレレ」(小野リサの父親が経営)にてレギュラー出演



スティーブ・サックス  
Steve Sacks

サックス&フルート・プレーヤー、アレンジャー

アメリカ・ワシントンD.C.生まれ、シカゴ、コネチカット州育ち。

ハーバード大卒音楽理論学者であるスティーブ・サックスは、ジャズ、ラテン音楽やブラジル音楽の豊かさと多様さを音楽活動の中心に置いて、プロとして35年以上になる。5ヶ国語が流暢で、

20年に及んでニューヨークのジャズシーンで活躍して来た。

CDやLP100枚以上に参加。また、スティーブ自身がリードするニューヨーク・ベースのブラジリアン・ジャズグループ「トリロジア」と「ガナバラ」で4枚のアルバム。初めてのソロCDである

「First Dream: 初夢」に加えて、「Look To The Sky」と「Christmas Presence」は現在発売中。下は共に演奏・録音または編曲を担当した代表的なアーティストの例です。

小野リサ、矢沢永吉、森山良子、南佳孝、マリーン、伊藤ゆかり、中森明菜、カヒミカリイ、夏木マリ、アンディー・ラウ、ザ・テンプテーションズ、アストリッド・ジルベルト、ティト・プエンテ、熱帯ジャズ楽団、デューク・エリントン・オーケストラ、アール・クルー、マンハッタン・ジャズ・オーケストラ、ポール・サイモン、デーヴィッド・バーン、トーキング・ヘッズ、ジョー・ジャックソンなど共演。

スティーブ・サックスの演奏をYouTubeで見られるビデオ・クリップ

ティト・プエンテ・オーケストラのメンバーとして ヘネラション・デル・80 (ボゴタ・コロンビア 1983年)

ティト・プエンテ・オーケストラのメンバーとして エル・レイ・デル・ティンバル (ニュー・ヨーク 1979年)

ティト・プエンテ・オーケストラのメンバーとして パラ・ロス・ルンベロス (ニュー・ヨーク 1979年)

アンヘル・カナレス&サボール・バンドのメンバーとして サラグエイ・サントハ (カラカス・ヴェネズエーラ 1981年)

アンヘル・カナレス&サボール・バンドのメンバーとして ボンバ・カランボンバ (カラカス・ヴェネズエーラ 1981年)

Minaswingのメンバーとして ヌ・ヴェント (東京2004年)

Minaswingのメンバーとして ヴォー・ジ・アヴィアウン (東京2004年)

東京ビッグ・バンドのメンバーとして ライト・ワン (東京2008年)

東京ビッグ・バンドのメンバーとして グリーン・ソース (東京2008年)

東京ビッグ・バンドのメンバーとして 春の小川 (東京2008年)

Serendipity 18 のメンバーとして A Cool Breeze (東京2010年)



## デレック K. ショート

ベース/サクソ/プロデュース/コンポーザー

アメリカ合衆国シカゴ出身。

幼少の頃からトランペットを演奏し、14歳の時にベースを始め、16歳でプロフェッショナルになる。

プロフェッショナルになると同時にシカゴの音楽学校「American Conservatory Of Music」に入学しジャズとクラシックの音楽教育を受ける。アメリカ国内外の様々なジャンルバンドに参加した後、アメリカ国外に活動の場を広げ、独自のスタイルと音楽性を確立する為にソロ活動と作曲に力を入れる。

その後、ソロ活動をしながらも数多くのミュージシャンと共演。現在まで、アメリカ、シカゴを始めニューヨーク、カリフォルニア、ロンドン、オランダ、アムステルダム、ドイツ、ベルリン、エジプト等で活動。

共演アーティストは、カーマイン・アピス、ハイロム・ブロック、ウエイン・ヘンダーソン(クリセーターズ)、ゲリー・シャイダー(P-FUNK)、ゲリー・クーパー(P-FUNK)、マーク・ホワイト(スペクターズ)、ポール・ジャクソン(ヘッドハンターズ)、ERIC B & RAKIM 等、その他多数。

その音楽性のみならず演奏法も独自のスタイルを確率しており、ベース一本で、リズム、コード、メロディーの全てを同時演奏する特別な表現法をするベーシストとしても知られている。

現在まで、4枚のアルバムをリリース。各アルバムは、作曲、編曲、プロデュース、演奏の全てが高く評価される。

### ジャズ・ライフ誌

デレックの良さは、その溢れる才能と技術が音楽としての完成度に直接結びついているところにあり技術に長けた人にありがちな「音楽ってのは、それだけじゃないんだよ。」みたいな方向に向かっていない。1曲目の「ミーターズ」の名曲などはわかってない人がやるとすぐにボロが出る危険な曲であるが、逆に一発でデレックの熱き心に触れることが出来る。さらにハイテク等々の使い方が良いテイストしている。マルチプレイヤーだのハイテクだの、うさん臭い言葉が全部、見事に当たりの目に出ているのがデレックだ。特に今回の選曲は危険な曲が並ぶが、全曲、うるさ型のあなたを満足させてくれるだろう。

### ブラック・ミュージック・リヴュー誌

豪快でありながら精密なサウンド・アンサンブルに徹するかと思えば、妙に「ドブ板通り」なストリート・ファンクをブンブンと匂わせてくれる瞬間もあったり。教育がサウンドを作り(ジャズとクラシックの音楽理論を熟知)血がグルーヴを作る(シカゴ出身、幼少からトランペットを演奏し14歳でベースを始める)。世界中を渡り歩いたデレックがここ日本で構築したフリーな感性の集積がここにある。

### ジャズ・ライフ誌

彼のサクソはベースとは異なり極めてオーソドックスで、R&B 的な土の香りはあった。その分本作のプログラム基調のブラコン的なスマートさと心地よいファンクネスには少々面喰らったが、特にソプラノはなかなか色気のある唄いが入っており、細かいフレンジこそないものの魅力ある彼自身の音色を持っている。全曲オリジナルでトータルミュージシャンとしての音による説得力が形になっている作品。

### BOSS/ローランド

ともかく誰もが目を疑う超ウルトラテクニックにのみ注目されがちなデレックだが、その音楽センス、そして身体でじかに聴衆を感じていたいと願う音楽に対する真摯な姿勢は、忘れていた何かを思い出させる。

### 活動履歴:

倅田来未 サポート、久保田利伸 プロモーションビデオ、TLC 2015 MTV サポート、アッシャー 来日時TV サポート、カーマイン・アピス ドラムクリニック、エンディア・ダウンポート サポート、エグザイル、Superfry ミュージックビデオ、トク サポート、ブルガリ・バー 演奏、リッツカールトン 演奏



マイク レズニコフ

Mike Resnikov

ドラマー

米国 ニューヨーク州マンハッタンで生まれ

父は画家、母は写真家の芸術一家で、父の友達にミュージシャンが多かったことから

幼少時よりレイ・アームストロング、マキシム・サリバン、ジョー・ジョーンズ、

カイ・ウィンディング等 数多くのミュージシャンの音楽を目の前で聴いて過ごす。

因みに、レイ・アームストロングのバンドドラマー、ズティ・グルトーンは彼の名付け親である。

21歳でプロになり、ニューヨークではフランク・ストロージャー (as)、ジーン・テイラー (b)、

カイ・ウィンディング (t b)、ドン・エリオット (biv) 等多くのバンドに参加。

1978年に来日してからは、金井英人、山本剛、田村翼、池田芳夫、土井英史、

シャープ&フラット、小宅珠美などのバンドに参加し、多くのアルバムを残した。

2009年にはリーダーアルバム「Time to smile」を発表。

2013年には2ndアルバム「 Only You」を発表。

現在も現役ドラマーとしてライブやレコーディングで活躍中。

自己のカルテット「Mike Jazz Quartet」を率いて、西荻窪の「アケタの店」毎月出演。

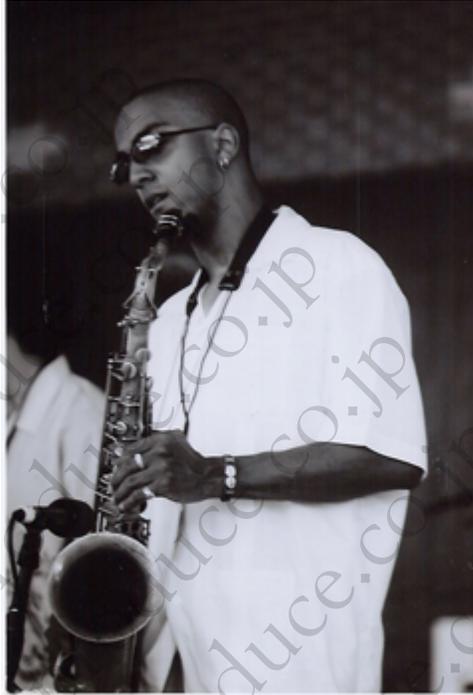
素晴らしく、Swingする演奏を聴かせてくれる。



**ANDY WULF**  
**(アンディ・ウルフ)**

カナダのアルバータ州エドモントンで生まれ育ち、モントリオールが活動の拠点となっていました。人生の半分ほどはサクスを吹いており、17歳の時には既にプロとして活動を始めています。モントリオールのマクギル大学において、クラシック作曲とジャズ演奏の学士号を取得。演奏者、アレンジャーとしての業績は次のとおり多岐に渡っています。レジー・ウォークマン、ケニー・ウィーラー、ロビン・ニューバンクス、アンソニー・ブラクストンと言ったジャズ界の大御所と共演有名なマイルス・デイビスのバンドメンバーであった、デイビット・リーブマンと共演。収録かつて、モントリオールの有名なラテンバンド“LA MODA”のアレンジャー兼メンバーモータウンレコーディングアーティストのマーサ・リーブス、カナダの有名シンガーであるアン・マーレイ等のポップアーティストのバックメンバー。

現在、アンディウルフは様々な音楽シーンで活動をしています。スタジオ収録・作曲活動のほか、アイコ、矢沢永吉、福山雅治、森山良子、クリヤマコト、日野皓正、中山マリ、など数多くの有名アーティストと共演。



**RAYMOND McMORRIN**  
(レイモンド・マックモーリン)

サックス

国内のジャズライブハウスなどで「小沼ようすけ」や多くのプロミュージシャンと共演。  
日本語も来ます。サックス演奏のテクニックも素晴らしいミュージシャンです。



**JAMES MAHONE**  
**(ジェームス・マホーン)**

サクソ(アルト、テナー)／作曲／講師

(ライブ活動)

1990-1996: ポピュラージャズバンド-ブラックノートのメンバーとしてアメリカ各地、ヨーロッパ、カナダのクラブやフェスティバルなどで演奏。

ディレクターも勤める。コロンビア レコード、GRP/インパルスレコードのレコーディングミュージシャン。

ウイントン・マーサリス、エリック・リード、ビリー・ヒギンズ、ジルスコット・ヘロン、エル・デ・バージ、ジョシュ・レッドマン、ロイ・ハグロヴらと共演。1996-2001: 多数のグループに参加。(ポピュラーソウルバンド-マザーズフェイバリットチャイルド、R&B バンド-ザ・チェスターフィールドなど) NY を中心にペンシルベニア、コネチカット、マサチューセッツ、モンリオール、トロントなどで演奏を続ける。レジー・ウォークマン、ビリー・ハーパー、アーニー・ローレンス、ジェイソン・リンダー、ルシル・ミルズらと共演。ミュージシャン、音楽講師として、東京、横浜、沖縄などで活動。マイケル・ウルフ、ジョン・ウィリアムス、アリ・ジャクソン、カルヴィン・エドワーズと共演。

(ライブ演奏)

朝日生命ホール、Bash、幕張メッセ・シーテック・エレクトロニクスショー、

Body&Soul、Nobu、Jazz Is、Jazz Spot J、The Quarterhouse、

Tokyu Bunkamura、XEX アタゴヒルズ、XEX 代官山、キャピタル東急ホテル、フォーシーズンズホテル etc。

(レコーディング)

“ジャングルミュージック”by ブラックノート/コロンビアレコード 1994

“ナッシング・ハット・ザ・ブルース”by ブラックノート/GRP インパルスレコード 1996

“53 W.19th St.”by マット・オット/ビッグアスレコード 1996

“ストレートスウィング”by ウィリー・ジョーンズⅢ/ウェッジレコード 2000

“ザ・ブートレッグ”by マザーズフェイバリットチャイルド/PMT レコード 2001

(音楽講師)

1998-2001: NY サニーミュージックスタジオにて管楽器講師、プライベート管楽器講師

トレーニング

1987-1990: ノートリッジ・カリフォルニア州立大学

1996-1997: ニュースクール・ニューヨーク

ビル・カルキン、ビリー・ヒギンズ、ビリー・ハーパー、ジェフ・クレイトン、ビル・フィールダーらに師事。



## Jeff Curry

ジェフ・カリー

1978年2月6日ウエスト・ヴァージニアのルイスバーグ生まれ。

13歳の時、手にしたトランペットをきっかけに彼の音楽という旅が始まる事になるが、その後すぐエレキベースへと目覚め、地元のミュージシャンと演奏そして作曲活動に励むようになる。16歳の頃スリング・ベースを学び始めジャズの世界へと導かれ気付くと“Ghost Town Swing”.というスウィング/ジャズバンドのリーダーとなっていた。

高校卒業後、ジェフは The University of North Texas(ノーステキサス州立大学)に入学。

Lynn Seaton そして Jeff Braditich に師事し、広く名高いビッグバンドやその他のスモール・アンサンブルで演奏する機会を得る。また大学外でも“Little Jack Melody and his Young Turks”というバンドでの US ツアー参加や Shelly Carol, Bernard Wright, Wayne Delano, and Brad Williams 等ダラスで活躍するミュージシャン達との演奏の機会に恵まれる。

その後 2004 年に東京に移住し演奏活動を続け、15 作品以上のアルバム制作に参加。

そのうちの2枚はジェフのオリジナル作品である。

また彼は“The Outer Rim”というバンドを結成しリーダーを勤める。

“Jeff Curry Music”ではプロデューサーや様々なタイプのメディアに向けた “Buy Out” ビジネスを提供している。

Jeff の主な共演者(バンド)は、the Hakuei Kim trio, Coppe, Serendipity Big Band, Ko Omura trio, Neil Stalaker's East/West Unit, and Tokyo Groove Alliance が挙げられる。

また、“The Jill-Decoy Association” や小柳ゆきなどのポップ界のアーティストとの共演、レコーディングにも参加。

最近ではビデオゲーム Sekaiju no MeiQ 2 Super Arrange Version CD への歌詞・曲提供、

その他多くの日本のアーティストに歌詞提供している。

Tokyo Jazz フェスティバル, Denton Texas Arts and Jazz festival,

フォートワース・メインストリート・フェスティバル, 豊島ジャズクルーズで活躍中。

アメリカ, 日本, 南アメリカ, メキシコ, タヒチ, マレーシアなど規模・国境を問わず演奏活動をするミュージシャンである。



Mark Tourian

マーク・トゥリアン ベーシスト

米国 コロラド州デンバー市出身

12歳よりプロとしてステージに立つ

名門ブラウン大学、エール大学院で幅広く音楽を学ぶ

1990年～ アーティー・ショウ・オーケストラに在籍 カナダ、スウェーデン、全米各地をツアー

1993年～ トミー・ドーシー・オーケストラに在籍 全米ツアー

1994年～ グレン・ミラー・オーケストラに在籍 日本、ハワイ、全米をツアー

1994年～ ニューヨークの Small's Jazz Club のジャム・セッションにて、ハウス・バンド・ベーシストとして  
レイ・ブライアント、ウイントン・マルサリス等と共演

・現在日本に本拠地を置き、全国でのコンサート、フェスティバル、ライブ、イベントの他、  
録音、放送の仕事も手掛けている。

・トム・ピアソン、守屋 順子、山中 千尋、東京ビッグ・バンド、宮本 大路、トミー・キャンベル等と共演。

・多国籍ジャズグループ『Candela』のメンバーでファースト・アルバム『Mogami』が大好評を得る。

・2004年7月、セカンド・アルバム『Rise Above』をリリース。

・ニュー・ヨーク BlueNote、ニュー・ヨーク Joe's Pub、トロント・ジャズ・フェスティバル等に出演  
また、全国でジャズ・フェスティバル、コンサート等活動中。

・2005年1月、原 とも也とのデュオ CD『Window』をリリース

・2007年8月 CD『波紋 Window Trio Live』をリリース。

主な共演者：

トム・ハレル、ジョー・ヘンダーソン、日野皓正、デイヴ・リーブマン、ルー・タバキン、エディー・ヘンダーソン、  
エリック・マリエンサル、原 信夫、前田 憲男、五木 ひろし、錦織 健、姜 建華、パトリック・ヌジェ、  
ビリー・エクスタインポール・ジェフリー他

映画出演：

松平 健、ブルーノ・ガンズ主演日独合作映画「バルトの楽園」(東映、2006年6月公開)に出演。

田村 正和、伊藤 美咲主演映画「ラスト ラブ」(松竹、2007年6月公開)に出演。

玉木 宏、上野 樹里主演「のだめカンタービレ」(東宝、2009年12月公開予定)に出演。



**CLIFFORD ARCHER**  
(クリフォード・アーチャー)

ベーシスト

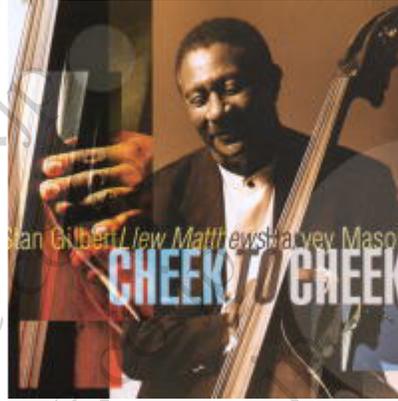
「アトランテック・スター」のベーシスト。

ヒット曲「オールウェイズ」で知られる世界的なグループである。

ブラックコンテンポラリー（通称：ブラコン）などの曲目は感動します。

バラッド、ミディアム、アップテンポまで自由自在にグルーブ感をきかせます。

世界の一流ミュージシャンのテクニック、ソウル、R&Bの本物のグルーブ感をたっぷりと聞かせてくれます。



**STANLEY GILBERT**  
(スタンリー・ギルバート)

#### ベーシスト

1938年9月10日 ニューヨーク生まれ

素晴らしいベースプレイヤーで、レコード、イベントの名プロデューサーとしても幅広く活躍中。

スタンはウエストコーストのジャズプレイヤーとの演奏をレコーディング、プロデュースしている。

CD「Pavane」邦題「亡き王女のためのハヴァーナ」、メンバー/ヒューバードローズ(フルート)、

パディー・コレット(サクソ)、ケビン・ユーバンク(ギター)、ルー・マシューズ(ピアノ)、

ハービー・メソン(ドラム)、又、CD「Ave Maria」、メンバー/ヒューバード・ローズ(フルート)、

アーニー・ワッツ(フルート)、アンソニー・ウィルソン(ギター)、ロジャー・ケラウェイ(ピアノ)、

ハービー・メソン(ドラム)はスウィング・ジャーナル・ゴールドディスク賞を獲得。主な共演者はクルセイダース、

チコ・ハミルトン、フレディー・ハバード、ルー・ロウズ、ナンシー・ウィルソン、デージー・ギレスビー、

レス・マックラン、ブルー・ミッチェル、エディー・ハリス、ジーン・ハリス、ハンク・ジョーンズ、アニタ・オディー、

パディー・コレット、アーニー・ワッツ、デージー・ガレスビー、ジャッキー・マクリン、サラ・ヴォーン、

ダイアン・シェア、ケニー・バレル、ジョー・サンプル、ジミー・スコット、ジミー・スミス、ライオネル・ハンプトン等。

1990年に、来日してから東京原宿ジャズライブハウス「キーストン コーナー」では

歌手のロレッツ アレキサンダーと共演。そしてダイアン シュアとも共演。

この時の模様はNHK衛星TVにて放映された。また、レーザーディスクとビデオ化された。

数々の日本人プレイヤーとも共演。

北村英治、伊藤君子、ケイコ・リー、ミッキー・カーチス、水森亜土、中本真理、ジミー武内、他。

スタンの栄光はジャズ界においてだけではない。彼は在米中、サンディエゴや

ロスのフィルハーモニーオーケストラを経て、60年代後半から70年代後半の有名な

ロック・グループのリーダーとしてポップ・チャートをにぎわせた経験も持つ。

ジャズだけにとどまらない、幅広く豊かな音楽性が彼の魅力のひとつである。



**Dennis Bradford (デニス・ブラッドフォード)**

ドラマー

ケニーG、チックコリア、アルジャロウ等、有名アーティストのレコーディングに参加。

アメリカのヒットメーカー達がデニスのドラミング、パフォーマンスを評価し、数々のヒット曲に関わる。

いまだに米国内でドラマーとしてビッグネームの一人。

1970年代カシオペア、プリズムなどが密かに手本としたフュージョンジャズの創始者ジェフ・ローバー。

そのグループのリズムの要として黄金時代を築いたドラマー、デニス・ブラッドフォード。

ジェフ・ローバーバンドに在籍し数々のセッションを世の中に残してきた天才ドラマー、デニス・ブラッドフォード

米国、オレゴン州ポートランド生まれ。音楽の才能に溢れた家族のもと、4歳からドラムを始める。8才でプロデビュー。

父のボビー・ブラッドフォードは、ビリー・ホリディのバンドメンバーとして世界的に有名なトランペットプレイヤーであり、

フランク・シナトラやクインシー・ジョーンズとも長期に渡って共演をした。

そんな父親の影響を受け、デニス は自然に音楽に対する造詣を深めていった。

6歳でポートランドにおけるデビュー・コンサートを行った後、多くのレコーディングやライブ・セッションに参加、

その才能が認められ、アリスタ・レコードとの契約に至る。その後11年間に及んだ契約期間中、

20世紀にフュージョンという音楽を確立したグループとして有名な「ジェフ・ローバー・フュージョン」のメンバーとして演奏活動や

レコーディング活動に参加。オリジナル・メンバーにケニー・Gも参加していた本バンドで、デニスはオリジナル・ドラマーを務めた他、

バンド楽曲のアレンジメントも一手に担当した。

チック・コリアやスタンリー・クラークとのステージにおけるジェフとの共演の他、数多くのレコードを発表、

その中にはアメリカン・ヒットチャートのトップ10入りを果たしたライブ・レコーディング・アルバムもある。

「ジェフ・ローバー・フュージョン」に影響を受けた多くのフュージョン・グループの一つでもある

「スクエア・カシオペア」は日本においてナンバー1ヒットを達成した。

1989年に東京に音楽活動の拠点を移す。その6年後、ライブでの共演をきっかけにマミと知り合い

2001年5月、デニス&マミが全曲アレンジを手がけたアルバム「アティテュード」をリリース。

常にチームワークの良さで仕事を手がけるデニス&マミの音楽の世界は、あのプレイ・ステーション2のゲームソフト音楽のアレンジや

日本の数多くのアーティストのプロデュースなど、様々な分野においてその広がりを見せている。

現在発売中のアグネス・チャンや保科ユリ、YUKAなどのCDはデニス&マミのアレンジによるものである。

デニス・ブラッドフォード Discography



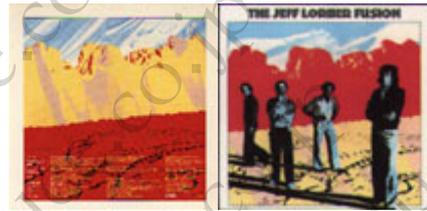
"The Jeff Lorber Fusion" ジェフ・ローバー・フュージョン  
 1977 Inner City Records [IC 1026]  
 Produced by: Jeff Lorber and Harry Callow  
 All compositions by Jeff Lorber  
 Jeff Lorber: Keyboards  
 Dennis Bradford: Drums  
 Lester McFarland: Bass  
 Terry Layne: Reeds & Flute



The Jeff Lorber Fusion "Soft Space"  
 1978 Inner City Records [IC 1056]  
 Produced by: Jeff Lorber and Marlon McClain  
 Jeff Lorber: Keyboards  
 Terry Layne: alto & tenor saxophone, Flute  
 Dennis Bradford: Drums  
 Lester McFarland: Bass  
 Ron Young: Congas & Percussion



1979 Arista Records [ARISTA AB 4234]  
 Produced by: Jeff Lorber  
 Jeff Lorber: Keyboards  
 (Prophet, Fender Rhodes, Mini-Moog, other)  
 Dennis Bradford: Drums  
 Danny Wilson: Electric bass  
 Dennis Springer: Saxophone  
 Freddie Hubbard: Flugelhorn  
 Joe Farrell: Flute  
 Bruce Smith: Percussion  
 Doug Lewis: Funky guitar  
 Jay Koder Jazz guitar, acoustic guitar



The Jeff Lorber Fusion "Wizard Island"  
 1980 Arista Records [AL 9516]  
 Produced by: Jeff Lorber  
 Jeff Lorber: Keyboards  
 Kenny Gorelick: alto & tenor saxophone, Flute  
 Dennis Bradford: Drums  
 Danny Wilson: Electric Bass  
 Paulinho Da Costa: Percussion



The Jeff Lorber Fusion, "Galaxian"  
 1981 Arista Records [AL 9545]  
 Produced by: Jeff Lorber and Rik Pekkonen  
 Jeff Lorber: Keyboards  
 Kenny G: alto & tenor saxophone, Flute  
 Dennis Bradford: Drums  
 Danny Wilson: Electric Bass  
 Paulinho Da Costa: Percussion



"attitude"  
 featuring Dennis Bradford  
 with "Solid Ground"  
 2001 CAB Records [CBCJ-0016]  
 Dennis Bradford (Drums)  
 Mami "Horie" Bradford (Pf/Kybd/Vocal)  
 Calvin Youngblood (Vocal)  
 Marco Bosco (Perc)  
 Tod Carver (Guitar)  
 Fumio Nishiyama (Guitar)  
 Pat Brady (Guitar)  
 Junichi Takagi (Guitar)  
 Kiichiro Komobuchi (Bass)  
 Shinichi Satoh (Bass)  
 Teruo Gotoh (Tenor Sax)  
 Noboru Inoue (Trombone)  
 Ryuichi Takase (Trumpet)  
 Shinpei Inoue (Flute)

Kenny G: alto & tenor saxophone,  
Flute  
Dennis Bradford: Drums  
Danny Wilson: Electric Bass  
Paulinho Da Costa: Percussion

Junichi Takagi (Guitar)  
Kiichiro Komobuchi (Bass)  
Shinichi Satoh (Bass)  
Teruo Gotoh (Tenor Sax)  
Noboru Inoue (Trombone)  
Ryuichi Takase (Trumpet)  
Shinpei Inoue (Flute)



**PHILIP WOO**  
(フィリップ・ウー)

#### キーボード

ワシントン州シアトル生まれ。

フィリップ・ウーは14歳からアメリカシアトルにてプロ活動を始め、

高校の同級生であったあのソプラノ・サクスのケニー Gとバンドを組みました。

その後ヒップ・ホップネタでも引っ張りだこのロイ・エアーズに見出され19歳でメンバー参加。

そして現在も毎年アメリカで行われる黒人音楽最大のイベントでも毎年トリをとる

大御所バンド MAZE のメンバーとしても活躍。

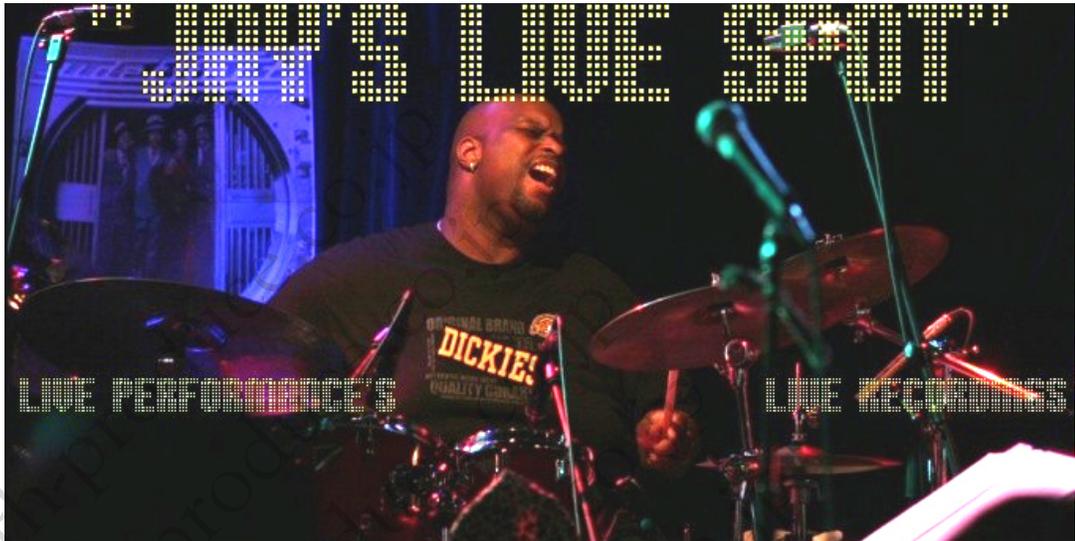
ホイットニーヒューストン、スティービーワンダー、シンディーローパー、スタイリステックス、

パティ・ラベル、ロバータフラック、グローバーワシントン、グラディスナイトアシュフォード&シン普森、

メーズ、ジェフリーオズボーンなどのレコーディングアーティスト、ツアーメンバーとして活躍する。

日本においても久保田利伸、ゴスペラーズ、平井堅、Sowelu、ケミストリー、スコープ・オン・サムバディ、

フェイレイなどとレコーディング、楽曲提供、ツアーメンバー、プロデュースを行なう。



**JAY STIXX**  
(ジェイ・スティック)

ドラマー、ソングライター、プロデューサー。

AIと全国ツアーなどでも活躍している黒人ドラマーのジェイスティックス。

スティービーワンダー、K-Ci & Jojo、AI、久保田利信、クレバ、SMAP、Double、Tina、Toku、Bird、Silk、日野賢二“JINO”などと共演。久保田利信、クレバとコンサートツアー参加。

パワーとテクニックが両立している数少ないドラマー。

アメリカ、ミシガン州デトロイト出身。ベーシストの父の影響で3歳からドラムを始める。

1995年のグラミー賞新人賞を獲得した「トニーリッチプロジェクト」と共に、全米、ヨーロッパツアーに参加。

1996年に初来日。2000年沖縄サミットでは、有名なジャズサクソプレーヤーMicheal Pauloとビルクリントン大統領とスペシャルライブ演奏。

マキシープリースト、Gigi Hamilton(Warner Sweden)、Quere(Victor)に楽曲提供している。



東京・横浜・千葉・埼玉・静岡・茨城・長野・福島・新潟・大阪・京都・神戸・名古屋・福岡

名門ジャズクラブで活躍中のジャズマンたちによるジャズ生演奏。  
 スタンダードジャズ、ボサノバ、ディズニー、洋楽ポップスをアレンジ。  
 「ビルエバンス」、「ピーターオスカーソン」など憧れのジャズのリクエスト曲もお気軽にお問合せ下さい。  
 レストラン、ホテルなどご利用のお客様やイベント、ウエディング、パーティー、ホームパーティー、  
 式典などにステキなジャズの生演奏を。もっと気軽に生演奏を楽しむことができます。

披露宴パーティーは2時間30分対応。  
 列席者の迎賓・新郎新婦の入場・乾杯・歓談中・ケーキ入刀・お開き・送賓まで対応可能。  
 迎賓、入場シーン、乾杯、歓談中など 生演奏とCD音源を組み合わせることで  
 印象に残る素晴らしいウエディングになります。お勧め致します。生演奏の進行やレパートリーはお問合せ下さい。  
 生演奏は約 20 分演奏に1回、休憩を入れさせていただきます。CD等のご用意をお願い致します。

**ジャズ演奏 披露宴パーティーの進行例**

- ・スタンダードジャズ、映画音楽、洋楽ポップスなどリクエスト曲も可能です。
- ・披露宴進行は迎賓～送賓まで2時間30分対応。2時間30分対応
- ・披露宴進行は約20分演奏に1回休憩を入れます。CDなどBGMをご用意下さい。
- ・新婦ドレス→ドレスお色直し1回（又はヘアチェンジのみ）一般的な進行例。

時間	披露宴パーティー進行	備考	音楽
11:55	迎賓	迎賓（2～3曲）	♪生演奏
12:00	新郎新婦入場	1曲（生演奏 or CD） 例：イズント・シー・ラブリー、St. トーマス	♪生演奏
	司会より開宴の挨拶		
	プロフィール紹介	軽めにBGM演奏（ピアノ or CD） 例：虹の彼方に（Over the rainbow）	
	例：スピーチ2名		
	ケーキ入刀	1曲（生演奏 or CD） ジャズスタンダード・洋楽ポップス	♪生演奏
	乾杯の発声	発声と共に1曲（生演奏 or CD） ノリのよいジャズスタンダード演奏 など。 例：A列車でいこう、	♪生演奏
12:35	歓談/食事開始	リクエスト曲かお任せ曲（約15分間） 例：ムーンリバー、L・O・V・E など	♪生演奏
13:00	お二人お色直し	1曲（生演奏 or CD）	♪生演奏
13:00	お二人中座中	リクエスト曲かお任せ曲（約15分間）	♪生演奏
13:25	再入場シーン	2～3曲（生演奏 or CD） 例：ラヴィング・ユーなど	♪生演奏
13:40	メインテーブル着席		
13:45	歓談	お二人もご覧頂きながら	♪生演奏
	スピーチ・余興		
	デザートbuffet	例：ナイト・アンド・デイなど	♪生演奏
14:10	ご両親へ花束贈呈	1曲（生演奏 or CD） 例：星に願いを など。	♪生演奏
	両家代表謝辞		
14:30	お開き	2～3曲（生演奏 or CD）	♪生演奏

## ジャズ演奏 曲目リスト

曲目リストは以下を参照してください。

リストにない曲も編曲できる曲は演奏可能ですので、お気軽にご相談下さい。

### ジャズスタンダード・洋楽ポップス

フライミートゥザムーン、ミスティ、デイ・バイ・デー、A列車でいこう、酒とバラの日々、イパネマの娘、St. トーマス、ムーンリバー、ペーパームーン、L・O・V・E、ナイト・アンド・デイ、ジョージア・オン・マイ・マインド、サテンドール、テイクファイブ、三文オペラ(モリタード)、モーニング、センチメンタルジャーニー、ムーンライトセレナーデ、リカルドボサ(~ザ・ギフト!)、君の瞳に恋してる(Can't Take My Eyes Off You)、ザッツエンターテインメント、イズント・シー・ラブリー、ウォーターメロン・マン、マーシー・マーシー・マーシー、ユーアーマイサンシャイン など

### ラブソング

ラヴィング・ユー、ミスティ、ユーアーエヴリシング、誓い、遥かなる影(Close To You)、オンリーユー、ウェン・アイ・フォーリング・ラブ、マイシェリーアモール

### ディズニーソング

星に願いを、アラジン、ライオンキング、虹の彼方に(Over the rainbow)  
いつか王子さまが、美女と野獣

### ゴスペル

アメージンググレイス、ジョイフルジョイフル、オーハッピーデー

## ジャズトリオの披露宴パーティー進行例

新婦ドレス ドレスお色直し1回(又はヘアチェンジのみ)のパターンの一般的な進行例。

TIME	披露宴進行表	備考	音楽
12:00	新郎新婦入場	<b>A,ラブソング</b> ラヴィング・ユー、ユーアーエヴリシング、誓い、はるかなる影、ミスティ、オンリーユー、ウェン・アイ・フォーリング・ラブ、マイシェリーアモール...etc <b>B,ディズニーソング</b> 星に願いを、アラジン、ライオンキング、虹の彼方に、美女と野獣、いつか王子さまが...etc <b>C,ゴスペル</b> アメージンググレイス、ジョイフルジョイフル、オーハッピーデイ...etc <b>D,ジャズスタンダード~ポピュラーソング</b> ザッツエンターテイメント、デイ・バイ・デー、A列車でいこう、酒とバラの日々、テイクファイブ三文オペラ(モリタード)、イパネマの娘、ユーアーマイサンシャイン、イズント・シー・ラブリー、フライミートゥザムーン...etc	生演奏
	司会より開宴の挨拶	~ お二人のプロフィール紹介	
	例:スピーチ2名		
	ケーキ入刀	<b>D,ジャズスタンダード~ポピュラーソング</b>	生演奏
	乾杯の発声	<b>D,ジャズスタンダード~ポピュラーソング</b> 発声と共にノリのよいジャズスタンダード演奏が多い。 ケーキ入刀、乾杯はCD(BGM)の場合もある	生演奏
12:35	歓談/食事開始	例:食事中に演奏	生演奏
13:00	お二人お色直し中座	お色直し中座シーン	生演奏
13:00	お二人中座中	リクエスト曲かお任せ曲などで対応。(約15分間)	生演奏
13:25	新郎新婦 再入場	すべての各テーブルを回る場合は2~3曲は必要	生演奏
13:40	二人メインテーブル着席		
14:10	ご両親へ花束贈呈	<b>A, B, C</b> のような曲で演奏。	生演奏
	両家代表謝辞		
14:30	新新婦退場	感動的にしたいのであれば <b>A, B, C</b> の感じで。 ノリよくしたいのであれば <b>D</b> の感じです。	生演奏
	送賓	サマーサンバ、ウェイブ、コルコバード、メデーション...etc 軽快で爽やかな感じのボサノバ調の曲をよく演奏	生演奏
生演奏は通常30分演奏の後、休憩を頂きます。(CDなどBGMのご用意をお願いします) その他にも対応できる曲はございますのでジャズのリクエストがあれば申し付け下さい。 ジャズのスタンダード曲はリクエストは無料です。 生演奏とのBGM(CD音源歌入りなど)を使い分けるとメリハリがついて宜しいでしょう。 音楽で生演奏を使用しない場合は♪BGM(会場/ご利用者側)で対応して下さい。			

## 本番当日の流れ

### 演奏派遣 宴席日のスケジュール

- ①演奏者は演奏開始の1~1.5時間前に入館（アメリカ黒人シンガー派遣は通訳兼マネージャー同行）
- ②弊社スタッフ/演奏者より会場側（会場スタッフ/音響スタッフ）と打合せをさせていただきます。
- ③演奏者・シンガーは演奏時間まで控室又は、喫茶室にて待機。お飲物のご用意をお願い申し上げます。
- ④演奏者スタンバイ → 演奏スタート

## 確認事項

### 演奏派遣について。

- 代金はすべて前金でお支払い頂きます（振込手数料は別途ご負担）
- 出演者のスケジュール、曲リストに関しましては、宴席日程決定後の調整とさせていただきます。
- アメリカ黒人シンガーは本番出演してからの拘束時間は1時間以内。出演シーンは2回までとさせていただきます。
- 原則として音響設備は会場側の既存設備使用。  
PA音響機器は別途お手配のご確認/ご用意をお願いします。
- マイク/マイクスタンド/MDプレーヤー/キーボード/エコー(エフェクター)等の確認をさせて頂く場合がございますが、基本的にリハーサルは行いませんので  
宴席開始前に 会場音響担当よりマイクチェック、MD機器などの確認を御願います。
- 楽器運搬の場合、搬入口の確認/駐車場の手配をお願いします。
- 演奏者・シンガーは演奏時間まで控室又は、喫茶室にて待機。お飲物のご用意をお願い申し上げます。
- 演奏の1時間前に会場入り。（通訳兼マネージャーよりマイク・MDプレーヤーの確認をさせていただきます。）
- 生演奏/ジャズ演奏は通常30分演奏の後、休憩を頂きます。（CDなどBGMのご用意をお願いします）
- 披露宴進行表、式次第、詳細等ございましたらFAXにてお送りください。
- アドバイスとしては生演奏とCD音源（歌入りなど）のBGMを使い分けると進行がととも引き立ちます。
- アメリカ黒人シンガーは東京・神奈川・千葉・大阪・名古屋・福岡・札幌へ派遣可能。
- ジャズバンドは大阪などへ出張可能。別途、見積り致します。

関東以外へ演奏者の派遣いたします。出張料金を計算させていただきます。  
日本人ゴスペル/アカペラ・ジャズバンド・弦楽四重奏はどうぞお気軽にご相談ください。

- ① 遠方派遣（北海道・札幌など）  
演奏者が夜遅くなり帰宅出来ない場所は宿泊（ビジネスホテル）の手配をさせていただきます。どうぞお気軽にご相談ください。
- ② 遠方派遣の場合は航空券・新幹線を予約するため1ヶ月前までにお申込下さい。

**アメリカ黒人シンガー 新潟・長野・山梨・福島などへの主張料金**  
(東京・横浜・大阪・京都・神戸・福岡は通常料金。)

人数	内容	アメリカ黒人シンガー 4曲 約 20分間 (通訳兼マネージャー同行)
1名	アメリカ黒人シンガー1名	・東京 から 新潟・長野・山梨・福島など ¥157,500 (2名 交通費込 = 3万円代まで) ・東京から 北海道(札幌) ¥298,000 (2名 交通費込 羽田より航空機利用・往復)
2名	アメリカ黒人シンガー2名	・東京から 新潟・長野・山梨・福島など ¥298,000 (3名 交通費込 = 6万円代まで) ・東京から 北海道(札幌) ¥420,000 (3名 交通費込 羽田より航空機利用・往復)